

ふるさとわがまちづくり

保見町自治区

◆「保見町」の由来

保見町自治区は、「伊保之記録」によると、「この村の最初は『御嶽』『市場』といていたが、和銅6年(713)から『射穂(いぼ)』と呼ばれるようになった」とあります。

また、「伊保之記録」に残る一番古いものは「延喜式、神明帳」の「加茂郡七座」に野見神社、野神社、兵主神社、射穂神社、狭投(さなげ)神社、広沢神社、灰宝神社と書かれています。この「射穂」については、射は縄文時代の狩であり、穂は弥生時代の稲作を表しており、随分古い地名であるといわれています。

一方、「伊保之記録」では、年代はいつ頃か定かでないが「射穂」が「伊穂」となり、更に「伊保」に変わったのではないかと記されています。

今から1100年余り前、三河の国加茂郡に、衣郷、高橋郷など七つの郷があったといわれ、その中の一つに伊保郷がありました。伊保郷当時に、田券の証印に使われたといわれる「伊保の郷印」今でも大切に保管されています。

昭和49年(1974)に発行された、木内武男著「日本の官印」によれば、郷印は、全国でも福岡県の次田と伊保の郷印が載せられており、他には見つからないとのこと。

この伊保の郷印は、古老からの伝承として鏡と仏像とともに三宝物とされています。特に、伊保の郷印については、毎年10月の射穂神社例大祭の式典には、三宝物の一つとして奉納しているところ。



左:射穂郷印、右:手鏡



さて、時代は変わり室町時代末期から戦国時代にかけて、現代の保見町には三つの城が築かれました。東古城と西古城ならびに伊保城の三つの城であるが、今は西古城のみが整備されましたが、他の2か所は城址となっています。これらの城は、広瀬城などの出城として尾張と三河の接点であるこの地の防衛に当たったものと思われています。

また、東古城は射穂神社棟札にも「永年7年(1510年)射穂神社当郷東城主松平右衛門尉定勝」とあり、松平氏の居城であったと記されています。

一方、西古城は、「平信長公の御家来佐久間右衛門大夫信盛高三万石、一向宗乱の時(石山合戦)上意に背かれ、其節城が背かれ申す由言なり」と西古城主佐久間信盛にあてています。

東古城・西古城とも平山城であり、山上に建てられ今は古井戸の遺構が残っているだけであり、これより少し後に建てられた伊保城は、平城で家康の家臣丹羽氏次氏の築城であり、その後、本多弾正が29年間居城し、廃城となったと文献にあります。



射穂郷印

現在の保見には、東古城と西古城の地名がその城址周辺地域の小字名として使われていますが、伊保城址周辺は御山前と言う地名です。

江戸中期以降は、信州飯田と名古屋を結ぶ飯田街道と、瀬戸道との分岐点にあり宿場町としても栄えました。明治の終わり頃までは、馬宿や宿屋がありました。名古屋、瀬戸、岡崎、足助へは、いずれも4~5里の距離にあり、地の利が大変良かったようです。

昭和20年の終戦により、昭和22年(1947)には地方自治法が制定され、地方分権の強化や地方行政の民主化が進められました。町村合併促進法により、昭和30年(1955)3月1日には旧猿投町と石野村・保見村が対等合併し新猿投町が誕生しました。

その後、トヨタ自動車工業(現在のトヨタ自動車㈱)の発展とともに広域的な都市計画が進められ、猿投町も豊田市を中心とした地域開発を進めることが、地域住民に利益をもたらすとして、昭和42年(1967)4月1日に豊田市に吸収合併され現在に至っています。

現在の保見町自治区は、猿投町と豊田市との合併により、誕生しました。昭和44年6月9日に旧猿投町選出の市議会議員と旧猿投町の区長を対象とした、第1回新町名設定説明会が開催されています。同年8月25日に開かれた第3回目の説明会において、新町名設定特別委員会が設立され、同市議会議員および同区長など14名の委員が選ばれ、協議が始められました。

しかしながら、昔から親しまれ由緒ある大字名「上伊保」を改名することについて「特別委員会のメンバーだけで決定することはできない」との意見があり、各町内の意見を取りまとめることとなりました。その結果、多数の区民が保見町と改名することに賛成し、昭和45年(1970)3月1日豊田市保見町が誕生しました。

各町内の意見を取りまとめるに当たり、当時の区長加納弥一さん(故人)の説明において、岡多線(現在の愛知環状鉄道)の駅名が保見駅であること、旧保見村当時の中学校名が保見中学校であることや、上伊保字北山に建設計画がある団地の名称が「保見団地」の予定で

あることなどから、豊田市大字上伊保が、豊田市保見町に改名された経緯があります。

これからの保見町が、今後、ますます大きく発展し、栄えることを願うものです。



保見町公民館

保見町自治区示一々 (HZ1.4現在)

設立: 昭和42年
世帯数: 446世帯
: 338世帯(昭和51年)
組数: 35組
面積: 4.874K㎡
自治区たより: 「保見町自治区だより」
回覧: 月2回
区費: 年額 約9,000円
ちびっ子広場: 4箇所
ふれあい広場: 2箇所
防犯灯設置箇所: 118箇所
ごみステーション数: 8箇所
小学校: 伊保小学校区
自治区会館: 保見町公民館